

新大阪駅でクラスター発生か！

現在、新大阪駅において新型コロナウイルスに感染した社員、濃厚接触者に該当した社員、PCR検査結果待ちの社員が複数名います。

新型コロナウイルスに感染した社員は5名いると言われています。

この状況からすれば、新大阪駅において新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生していると言わざる得ません。

まずコロナ感染状況の情報を提供せよ！

J R 東海会社は、新大阪駅におけるコロナ感染状況がクラスターになっている可能性があるにもかかわらず、新大阪駅社員をはじめ関連会社社員（関西新幹線サービックなど）に対する情報提供を適切に行っていません。

感染者数が増えている状況の中、現場の社員は状況がわからないため戦々恐々になっています。また、新大阪駅の社員の詰所や寝室の清掃などを担当するサービック社員にも情報提供はありません。

「適切に対処している」「HPに載せてないのは総合的判断」

4月12日、J R 東海労新幹線関西地本は関西支社と経営協議会を開催しました。地本は、経営協議会において新大阪駅における新型コロナウイルス感染に対する会社の対応について問い質しました。

会社は「適切に対処している」「HP（ホームページ）に載せてないのは総合的判断だ」と、隠蔽とも受け止められる回答をしました。

情報提供し、共有化し、全体で感染拡大予防をすべきだ！

隠蔽がクラスターを発生させているのではないか!?

会社が経営協議会において回答している「適切に対処」していれば、感染者はこれほどまでに増えることはありません。隠蔽ともいえる会社の対応がクラスターを発生させている可能性があります。

いま会社が早急にやることは、新大阪駅におけるコロナ感染状況の情報を提供し、共有化し、関係者全体で協力して感染拡大予防をすることです。